

1. 緑化—松林や海浜性植物の尊重-基準(素案)

■ 景観形成の方針＝緑化に関する景観形成に関する方針 (H18年度グランドプランより)

松林の緑や、砂浜の海浜性植物群落は、湘南海岸の代表的自然環境の一つであり、砂防林の保全・公共施設の修景緑化・宅地内の緑化等を推進します。

■ 全地区共通の基準

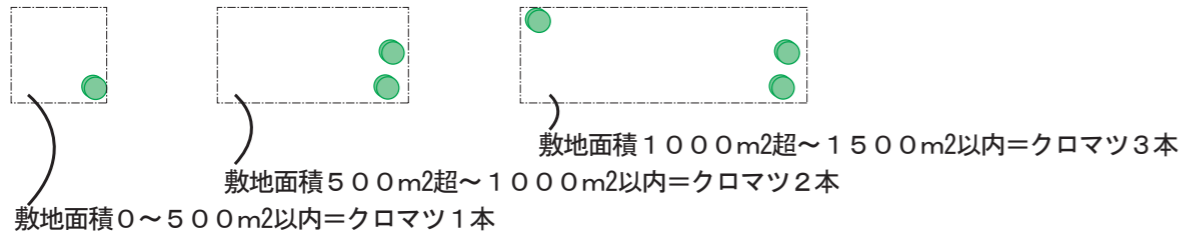
高木植栽：敷地面積500m²以内毎にクロマツを1本植栽する。

生垣植栽：敷地周囲には生垣状の植栽を行うよう努力する。

潜在植生：駐車場や空地等は、海浜性の潜在植生が生長する環境づくりに努める。

樹種：地区の潜在植生及び現在の景観をつくっている植栽とする。

高木植栽



生垣植栽：敷地周囲には生垣状の植栽を行うよう努力する。

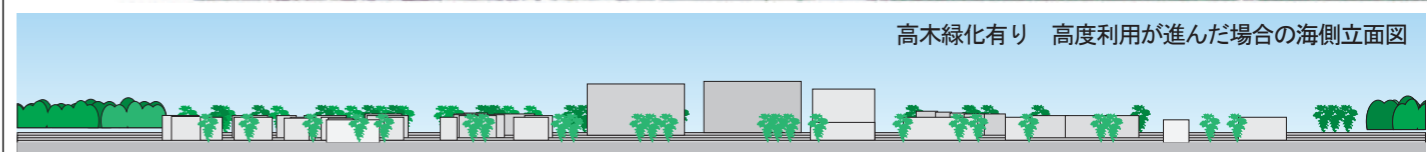
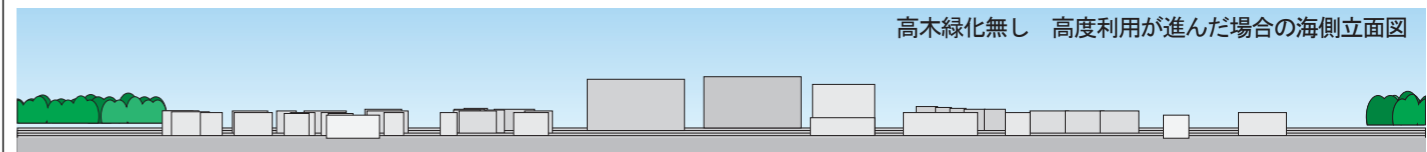
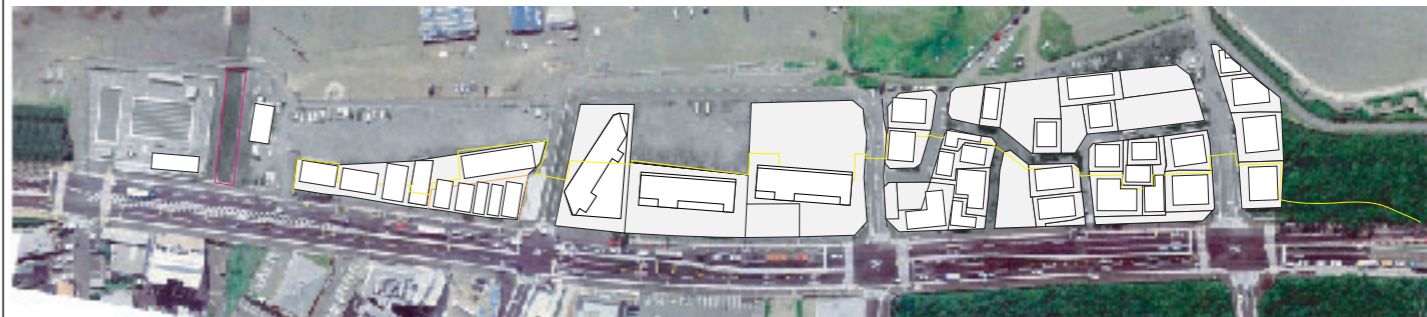
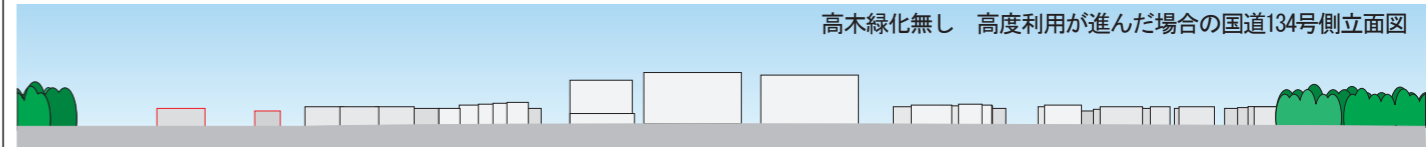


2. 考え方

松林と調和したまち並みを考えることが必要です。

湘南海岸の特徴的な景観は、海と砂浜と調和した立派な松林にあります。(白砂青松100選)

道路や緑地などの公共空間は、海への眺望の確保のために高木緑化は必要最小限に抑え、民有地の敷地内にクロマツによる高木緑化を行います。



イメージ
街角にある一本の樹木が、まち並みの雰囲気を一変させることがあります。
左は金沢、右は平塚の例です。樹種によってまち並みのイメージが大きく異なることが分かります。